

ひめまはは
はげしいのがおすき



あ

ちゅっ

シンドバッド様
いけませんわあ...

こんな所で...

ちゅっ

ふあ...

ビクッ

ビクッ

外に皆
いるのに...

駄目ですよ姫君

今の貴女はマゴイが
尽きかけているんです

はあ...

見ちゃうわ...

はあ

はあ

早く補給しないとイケない

今すぐ注いで
あげますよ…

私のマゴイを…

ハッハッ

ハッハッ

ん…あ…

少し声を抑えて下さい

外に漏れてしまう…

無理ですわあ

そんなあ…

いきますよ、姫君

ん…

ゴッゴッ

ハッハッ

シンドバッド様あ

ハッハッ

ドクドク♡

ドクドク♡

あ♡

だめえ…
声でちやうう♡

あ♡

ぬ♡

ぬちや♡

あ♡

ぬちや♡

仕方ない
お姫様だ…

そろそろマゴイを
注いであげますよ

あ…

しっかり受け止めて
下さい…

は…

あ…

あ…
きちやうのお

中に一杯…!!

ちや♡

ちや♡

ちや♡

あ♡



お女女...♡
お女女...♡
お女女...♡

お女女...♡

姫君...
貴女は私のものだ

逃れようとしても
離したりはしない
...いいですね?

身も心も...

...はい





ひめさまは

はげしいのがおすき





じゃあ交代で
とるとしますか

少し仮眠をとる…
思考が働かん

ああ、そうだな

だあああーっ！もうだめだ！



それより
風呂入りたいな

連日徹夜続きで
おちおち酒も飲めん

まいったな…



もう寝ているとは
思うが…

少しみていくか



カッ

そういえば、ここ数日
忙しすぎて姫君と
会っていないな…



…姫君



はあ



姫君…

少し失礼するよ
…うわあ!

びびりっくりましたわあ

シンドバッド様が
いらしているなんて…

かみあ

少し姫君の顔を
みたくなつてね

わっ、わたくしは

少し冷えてしまったので
お風呂に…

ふうん

姫君は？

風呂…か…

ちょうどよかった
俺も今から
入るところだったんだ

姫君も一緒にはいろう！

ええええええ…！

そんなに
恥ずかしくならなくても
いいじゃないか…

毎晩のように
裸みせているだろ？

あっ

だってシンデバッド様
いつもと違って…

男臭いというかあ…





私ったら
はしたない事を...

シンドバット様の
匂いがかいでしまうよ

体が熱くなってしまうのお



あの...
シンドバット様?



姫君...っ!



そんなに激しく…
だめえ

あっん!

あっ…

激しくされるのが
好きだろ…?



…んっ

そんな事…
無いわあ

あっ…

あっ…

あっ…



シンドバッド様の
大きくなってますわあ

シンドバッド様...

...久しぶりだからな

は...



すごい...
いつもより匂いが
濃くてむせかえりそう

おめえ...?

んっ

んっ...555



そんなに美味しそうに舐めて...

姫君は

いらやしい子だな

そんなにされたらすぐにでてしまうよ

うっん!

こんな
淫乱になってしまつて

俺以外に見せては
だめだよ……?

あは

シンドバッド様以外
いやですわあ!

シンドバッド

何ですのおお?



あ！

くおよ...

このオイルはね
きめ細かい泡に
なるんだよ...

ヌん

ひん

ああんっ

ヌルヌルするわあ

冷たい...

ヌル

これで姫君を
洗ってあげよう

ああん！

ん

ひん

ひん



あはっ

あはっ

あはっ

おっかしいに描いれささ...

あはっ

紅くて可愛らしい乳首が出てしまったな

あはっ

あはっあはっ

あはっ

ソコだめえ...

あはっ

あはっ

あはっ

姫君の肌はまるで絹のようだ

あはっ



少し触っただけで

アハハハハ

濡みいってしまったのか?

ごめんなさい

数日しなかったから溜まっていたんだな

ゴッゴッ
ゴッゴッ

そろそろ
いれたんだが...

いいかい？ 姫君...

はーい... 入れたんだから...

私のいやらしい
アソコに...
シンドバッド様の硬いの

はーい... 入れたんだから...





お風呂なんて嘘よお

シンドバッド様に
一目会いたくて…

私ずっと
シンドバッド様と

お会いできなくて
寂しかったのお…

お部屋に
行こうとしていたのお



~~まじまじ~~

可愛いすぎるっ

中で…

シンドバッド様のが
大きくなったわあ

貴女は
悪い子だ…

く…く…

あ

俺をこんな
本気にさせて…

あーっ
あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ
あーっ
あーっ
あーっ
あーっ

あーっ

あーっ

いけない子だ…

あーっ

あーっ

あーっ





外はいやあ...

それとも、このまま

中に欲しいですわあ

外に出してしまおうか?

私...頑張ります...

ん...

ぬっ

ぬっ

ぬっ

ぬっ

ぬっ

ぬっ

ぬっ



ハハハハハ...

ハハハハハ

おいおいおいおい

奥に...

きてるのお

ハハハ

ハハハ

姫君の中...

熱くてとけてしまっそうだ

ハハハハハ

ハハハハハ

ハハハ



はっ...

びしょ

びしょ

はっ...

びしょ

びしょ

いつてしまったわあ...

びしょ...

びしょ

びしょ

中に...出すよ.....

...うん...

おはは...
うんうん

おはは...
うんうん

おはは...
うんうん



はー…いい湯だ…

あれ？
何か忘れて
いるような…
なんだっか…

お尻も
そりましょ
うか？

頼めるかな？



仮眠から戻ってこない…

ス
ラ
マ



Twitter log

Twitter



log



ひめさま
は
はげしいのがあすき

MAGIFANBOOK
SINMADOKKOUGYOKU
20140816
MAMEDAIFUKUYA
MAMEKO